
TOMAS-PS/PS7 会計 バージョンアップ操作手順書

Version 1.0.2

令和3年10月29日



目次

1. はじめに	3
2. バージョンアップ初期準備	4
3. クライアントのバージョンアップ処理手順.....	8
4. サーバーのバージョンアップ処理手順.....	9
5. バージョンの確認.....	10

1. はじめに

1.1 バージョンアップの種類

バージョンアップは以下の2つの処理を行う必要があります。

- ① クライアント・・・クライアント側のプログラムの入替えを行います。
- ② サーバー・・・サーバー側のプログラムの入替えを行います。

クライアント、サーバーどちらを先にバージョンアップしても問題ありません。

ダウンロードには、TOMAS ユーザサイトへのログイン ID・パスワードが必要となります。
事前にご用意ください。

※TOMAS をご利用の PC がインターネットに接続できない場合は、接続可能な PC にて
USB メモリ等にダウンロード後、TOMAS ご利用の PC にコピーしてください。

1.2 PS7 会計システムが複数の端末で稼動している場合

クライアントとサーバーのバージョンアップは任意の端末により1回のみ行ってください。
(全ての端末で行う必要はありません。)

1.3 バージョンアップを始める前に

サーバーのバージョンアップを始める前に、念のためバックアップ処理を「全て」で行ってください。

バージョンアップは PS7 会計システムが導入されている端末で行ってください。

(バージョンアップ処理中は、他の端末での PS7 会計システムを使用しないでください。)

ご注意) バージョンアップ操作手順書の画面のバージョン(現在のバージョン、アップデートのバージョン)は、実際のバージョンと異なります。

最新のバージョンは、ダウンロードしたバージョンアップファイルの[最新の日付]となります。

1.4 PS7 予算をご利用の場合

(バージョンアップ処理中は、PS7 予算も運用停止をしてください。)

PS7 会計にて、サーバ側のバージョンアップをすることで PS7 予算のサーバ側のバージョンアップも完了します。

PS7 会計バージョンアップ完了後は、「バージョンアップ手順書 PS7 予算」4. WEB クライアントモジュールの入れ替え以降の手順に沿って、PS7 予算バージョンアップを完了してください。

2. バージョンアップ初期準備

2.1 バージョンアップファイルのダウンロード

当社 HP→[ソリューション]→[学校向け]→[TOMAS-PS]→[TOMAS-PS ユーザサイトはこちらから] (または <https://www5.city.co.jp/>) よりログインして、[マニュアル・資料ダウンロード]→[アプリケーション]を選択してください。



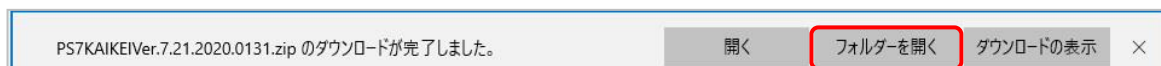
[PS7 会計バージョンアッププログラム[最新の日付]]を選択してください。



[保存]を選択してください。



ダウンロード完了のメッセージが表示されたら、[フォルダーを開く]を選択してください。



上記例は MicrosoftEdge です。ご利用のブラウザによってダウンロード時の動きは異なります。ご了承ください。

2.2 バージョンアップファイルの展開

ダウンロードしたバージョンアップファイルを右クリックしてメニューを開き、「すべて展開」を選択してください。

(解凍ソフト等をインストールされている場合は、メニューに「すべて展開」が表示されない場合がありますので、インストールされているソフトの手順に従って解凍してください。)



以下の画面が表示されますので、展開するフォルダー指定して、「展開」を選択してください。

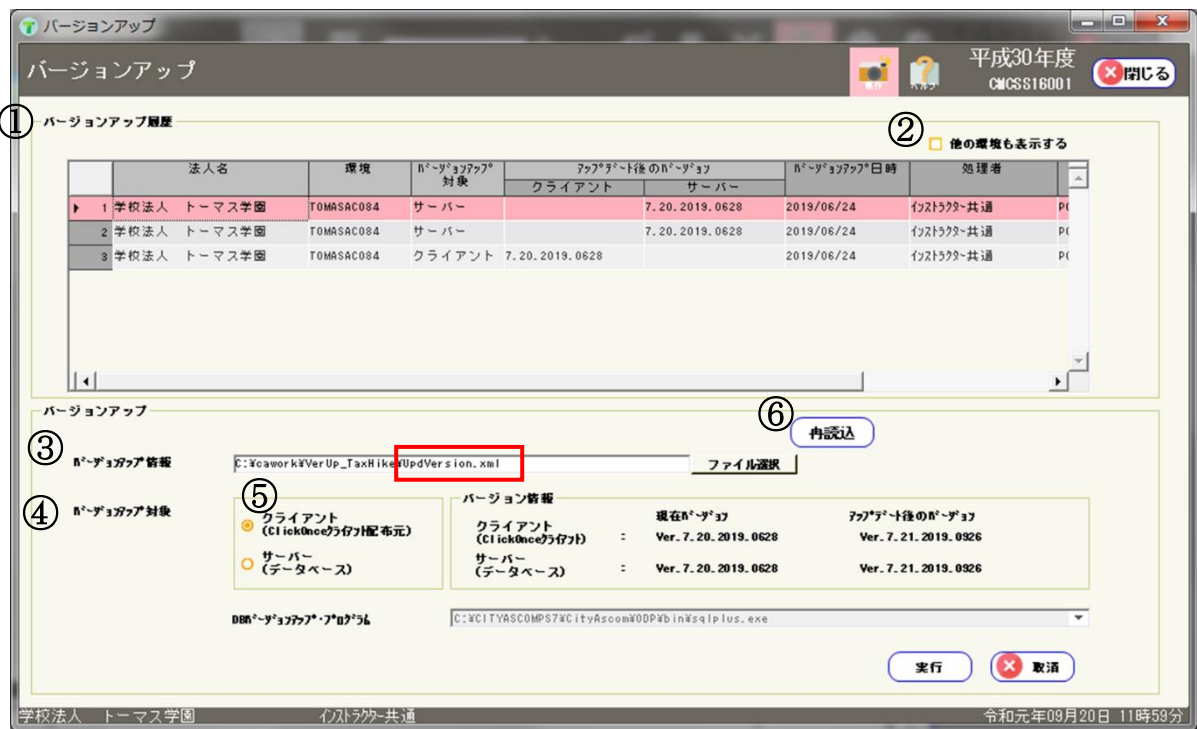


※ファイル名、フォルダー名に日本語を含まないようにご注意ください。
正常に動作しなくなる恐れがあります。

2.3 TOMAS の起動

TOMAS を起動し、ユーザーは「システム管理者」でログインしてください。

グローバルナビの[保守]→[バージョンアップ]を選択してください。以下の画面が起動します。



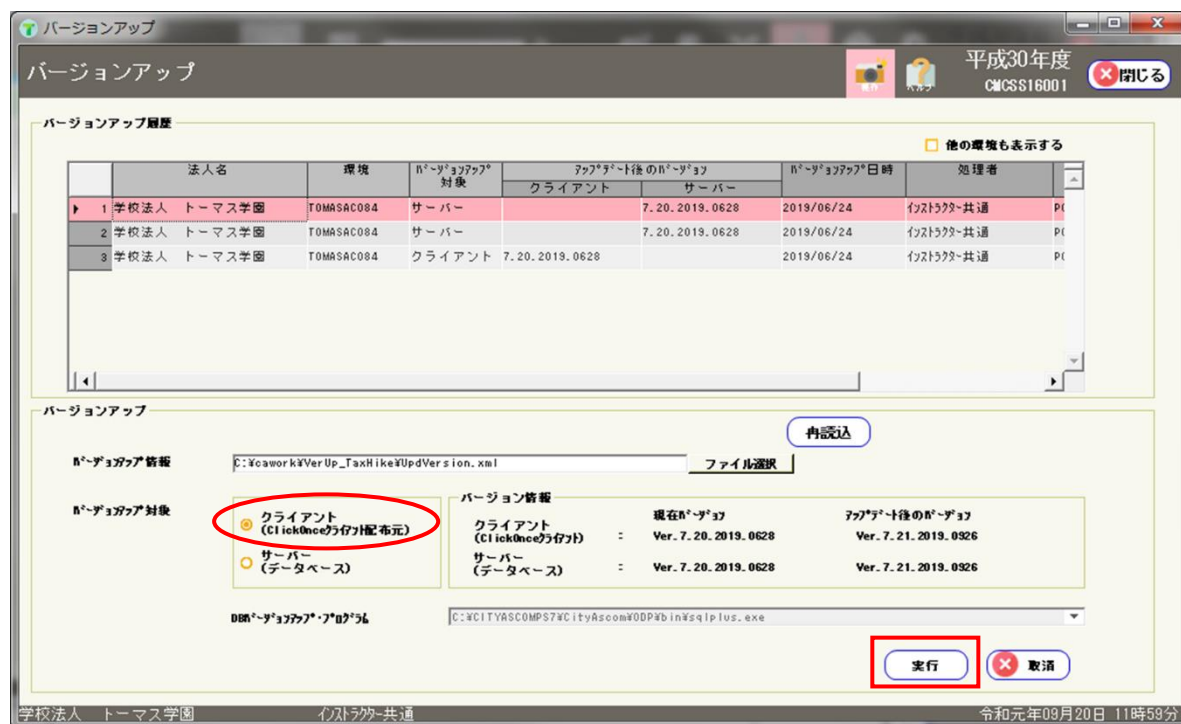
項目名 ※必須項目	説明
① バージョンアップ履歴	一覧表には過去にバージョンアップを行った履歴が表示されます。
② 他の環境も表示する	データベースに複数の会計環境が存在する場合、チェックを入れることで別の環境のバージョンアップ情報がリストに表示されます。
③ バージョンアップ情報 ※	バージョンアップファイルを展開したフォルダーの指定を行います。指定されたファイルの情報が表示されます。
④ バージョンアップ対象	クライアント (ClickOnceクライアント配布元)、サーバー (データベース)のどちらのバージョンアップを行うかの指定を行います。
⑤ バージョン情報	現在のバージョンとアップデート後のバージョンが表示されます。
⑥ 再読み込み	ボタンを押すと、「UpdVersion.xml」ファイルの内容を再度読み込み、バージョン情報の内容が更新されます。

※[ファイル選択]ボタンを押して、バージョンアップファイル展開フォルダー内の「UpdVersion.xml」ファイルを選択してください。バージョンアップ情報に、選択した「UpdVersion.xml」が表示されていることを確認してください。一度選択した情報は次回画面を開いた時也表示されます。

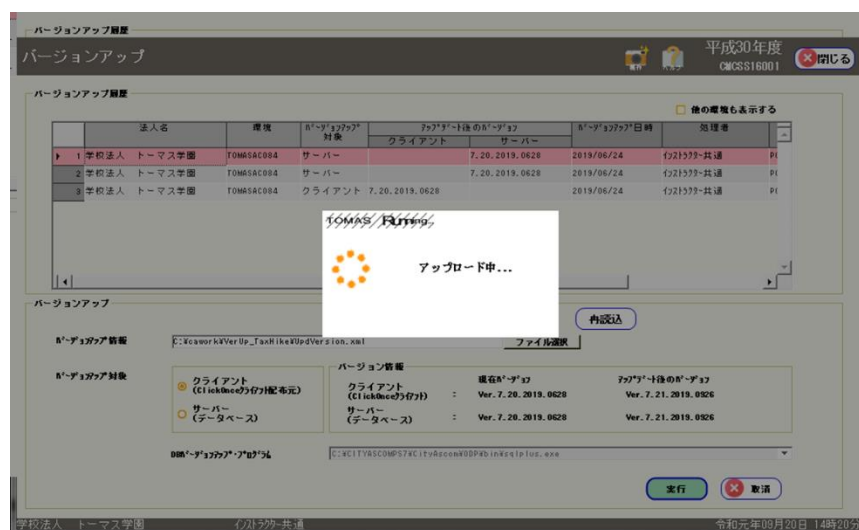
3. クライアントのバージョンアップ処理手順

バージョンアップ対象で「クライアント」を選択してください。

[実行]ボタンを押すと、クライアントのバージョンアップ処理が開始されます。



処理中は以下の画面が表示されます。



完了メッセージ「クライアント (ClickOnce クライアント配布元) が完了しました。」が表示されたら[OK]ボタンを押してください。引き続き、サーバーのバージョンアップを行う場合は、「4. サーバーのバージョンアップ処理手順」をご参照ください。

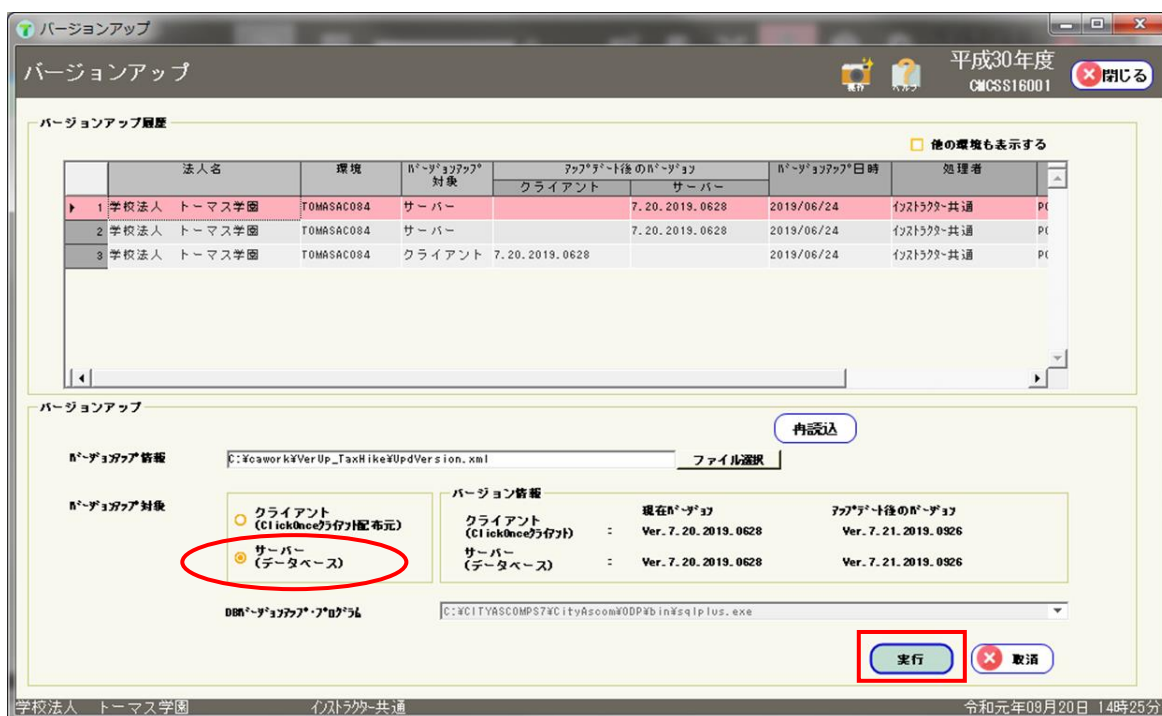
■クライアントを複数の端末に導入している場合

他の端末で PS7 会計を使用する場合、上記作業を行う必要はありません。PS7 会計を起動した際、バージョン確認メッセージが表示されますので、[はい]を選択してください。端末が自動的にバージョンアップされます。

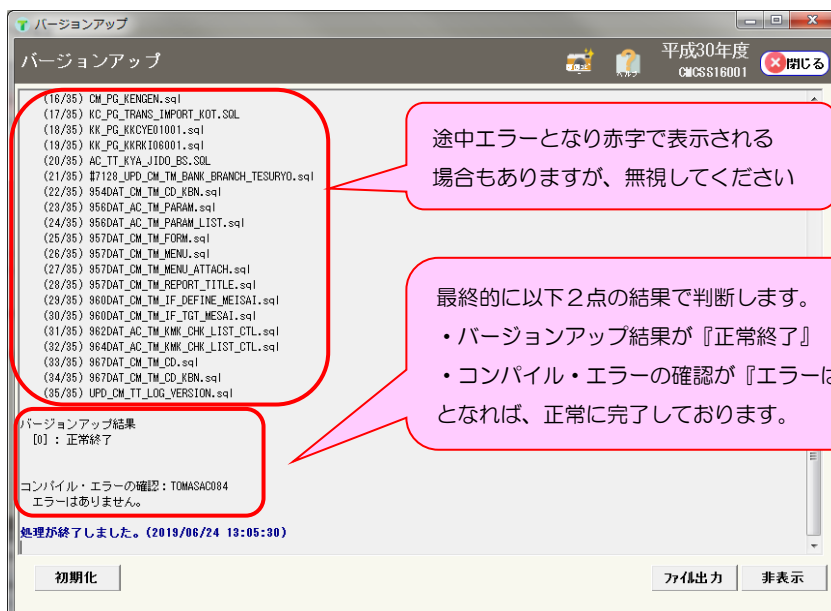
4. サーバーのバージョンアップ処理手順

バージョンアップ対象で「サーバー（データベース）」を選択してください。

[実行]ボタンを押すと、サーバーのバージョンアップ処理が開始されます。



処理中は以下の画面が表示され、進行状況を確認できます。



「処理が終了しました。」の文言が上記画面上に表示されたら完了です。[閉じる]または[非表示]ボタンを押して画面を閉じてください。

続いて再起動確認メッセージ「バージョンアップ処理が終了しました。TOMAS を再起動しますか？いいえを選ぶと自動的に終了します。」が表示されますので、[はい]ボタンを押してください。自動的にTOMASが再起動し、ログイン画面が表示されます。引き続き、クライアントバージョンアップを行う場合は、ログイン後に「バージョンアップ」画面を開いてください。

([いいえ]を押すと、再起動は行わず、そのまま終了します。)

5. バージョンの確認

グローバルナビの [バージョン情報] を開き、クライアント側バージョンとサーバー側バージョンが最新のバージョンであることを確認してください。

最新のバージョンは、ダウンロードしたバージョンアップファイルの[最新の日付]となります。



以上で処理は終了です。